

平成29年10月 5 日

各位

会社名 株式会社 A L B E R T
 代表者名 代表取締役社長 上村 崇
 (コード番号：3906 東証マザーズ)
 問合せ先 執行役員最高財務責任者 村上 嘉浩
 (TEL. 03-5909-7510)

新製品「Gripper（グリップパー）」発表に関するお知らせ

当社は、人工知能（AI）を用いた自動ターゲティングサービス「Gripper（グリッパー）」を2017年10月5日にリリースいたしましたので下記の通りお知らせいたします。

記



「Gripper」 ロゴ

1. 新製品の開発背景について

当社は創業以来、高度な分析力を強みにビッグデータアナリティクス領域で成長を遂げてまいりました。中でもマーケティング領域においては、国内でいち早くレコメンドエンジンやプライベートDMP構築サービスの提供を開始し、数多くの導入実績を積み上げてきました。これまでの豊富な実績から得られたノウハウを活かし、多くの企業のマーケティングが簡単に使用できる顧客ターゲティングツールの製品化を目指し、自動ターゲティングサービス「Gripper」を開発いたしました。

2. 新製品の概要について

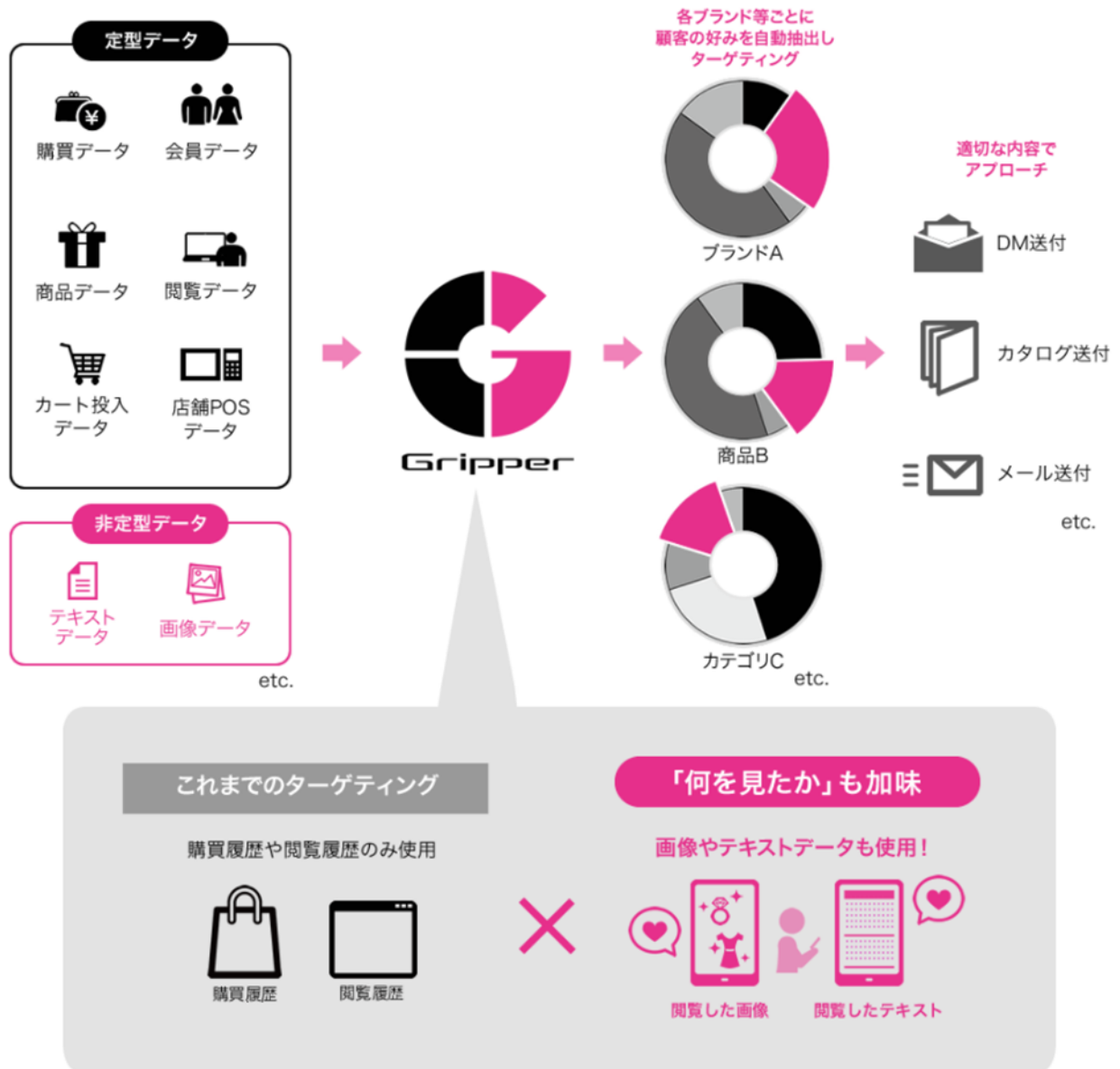
「Gripper」は、購買・閲覧・属性等の定型データだけではなく、画像・テキスト等の非定型データも含めて総合的に活用することで、自動で顧客ターゲットングを行なうサービスです。ディープラーニング技術を用いて画像・テキストデータから抽出した商品カテゴリやブランド等の特徴と、購買・閲覧・属性等のデータを掛け合わせて解析することにより、総合的に顧客の好みを把握し、機械学習を用いてターゲットングします。商品カテゴリやブランド等の粒度で、適切な販売促進を行なうことができます。

画像やテキストの特徴をディープラーニングで学習するため、購買や閲覧のデータが存在しない新商品においても、ターゲティングを行なうことができるというメリットもあります。従来の顧客ターゲティングでは、性別・年代・購買回数・購買金額・最終購買日等の定型データのみを用いてマーケターが手動でセグメントを作成するため、恣意的になりがちでしたが、「Gripper」はそのような課題を解決いたします。

活用方法は、DMやカタログを送付する際に、適切なターゲットを自動的に抽出してアプローチ

を行なうことが可能です。

「Gripper」は、各種のデータウェアハウス、DMP、マーケティングオートメーションツール等と連携することも可能です。



「Gripper」製品サイト

<https://www.albert2005.co.jp/gripper/>

3. 今後の見通し

本新サービス開始による現時点での業績への影響は軽微であり、今後、業績予想修正の必要性及び公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上